

ふれあい情報

2019年7月17日(水) 第301号

■発行 日本退職者連合
■発行人 野田那智子
■連絡先 〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

参議院選挙勝利し、立憲主義・民主主義を取り戻そう

2021年結成30周年にむけ、組織を強化拡大し、当面100万組織を目指そう

第23回定期総会を開催

野田那智子さんを事務局長に選出

退職者連合初の女性事務局長

退職者連合は、7月12日(金)、連合会館で「当面するすべての国政選挙を勝ち抜き、経済最優先の政治から生活最優先の政治に変え、生き生きと安心して暮らせる社会にしよう!」をスローガンに第23回定期総会を開催しました。議長に高木時夫(JP労退)、田向廣子(全国退女教、堀本秀雄(鉄道退)の3人の代議員を選出。2019年度の運動方針や予算、政策・制度要求、低所得高齢単身女性問題に関する政策・制度要求などを決定しました。また、2019・20年度役員を選出しました。



人見一夫会長挨拶



新潟・山形の地震九州南部の大雨被害あわれた方にお見舞い申し上げます。今年には災害のない年にと願っていましたが被害が発生しました。また、東日本大震災熊本地震、西日本豪雨、北海道胆振地震などで、今も避難所で生活されている方が何万人もいます。一日も早い生活再建ができるよう政府にも求めていきたいと思っております。

立憲主義を取り戻そう

参議院選挙を戦っています。残された時間は少ないが、比例連合候補10名をはじめ、推薦候補の必勝に向け全力で取り組みます。安倍一強政治を終わらせ、立憲主義・民主主義を取り戻し、社会保障の充実を目指す政治に転換させましょう。

女性参画のさらなる拡大を男女平等参画推進委員会を中心にこの間産別退連に女性参画についてヒアリングと要請を行ってきま

した。この結果を踏まえ今後さらに退職者連合の運動に参画できるよう方策を検討していきたいと思

核兵器廃絶1000万署名を

来年2020年は核兵器廃絶に向けたNPT再検討会議が国連で開催されます。連合、原水禁、KAKIKIN三団体が進める核兵器廃絶1000万署名に、日本退職者連合は、広島退連、長崎退連の要請もあり、積極的にとりくみます。150万筆集約を目指します。

支えあいの社会に。

持続可能な社会保障制度の確立が急務です。2040年には高齢化はピークに達し、社会保障給付費は190兆円になると推計されています。年金医療介護の達成度は高齢者だけでなく国民の生活を守るものでなくてはなりません。自己責任の社会ではなく、支えあいの社会に変えていくことが必要です。本総会に政策制度要求案を提案してまいります。実現するために中央地方全力で取り組みましょう。



宇田川浩一様
(こくみん共済COOP 常務執行委員)



高橋精一様
(労金協会専務理事)



花井圭子様
(中央労福協事務局長)



ご臨席いただいた
来賓のみなさま

連合会長 神津里季生様「挨拶

参議院選挙真つただ中、私たちの置かれている政治状況について申し上げたい。いま危機的状況にある。一つは投票率の年々の低下。30代、20代の人たちの投票率は国政選挙ですら30%台、投票率30%台の国に未来はない。旧民主党は2つに割れてしまった。バラバラになった。いまもってバラバラのまま。ガバナンスは悪かったが、理念は極めて大事だった。安倍さんは「悪夢だ、悪夢だ」というが、民主党の復活が怖いからだ。私たちにとつてみれば一瞬で終わってしまったが貴重な夢だった。もう一度正夢にしなければならぬ。民主党が掲げていた政策・理念が世の中からどんどんどんどん見えなくなってきた。このことは重大な危機である。今年連合は結成30周年。底上げ春闘働き方改革、これらを実現していくために労働組合仲間の拡大と福祉団体との連携を大切にして、30周年を節目しっかりと前に向かって進んでいきたい。

定期総会質疑応答・討論

吉田順子代議員(日退教)

退連が各産別ヒアリングなどを通して、女性参画に力を注いでおられることとお礼を申し上げます。日退教の女性参画の状況、総会だけ見れば一進一退。まだまだ3割には届いていない。総

会議長は2名中1名女性が定着。9月の高齢者集会の折には女性参加者の集いとして、ジェンダー平等を実現するための交流の場、それぞれが力をつけるためエンパワメントの場を設けている。今日の退連総会の女性参画はどうでしょう。今回の選挙では女性候補28%、どう育てていくかが重要。私たちは女性参加についてあきらめずに言い続けていきます。

波平 剛代議員(沖縄県退連)

第4号議案にある「寡婦控除」で「一度も婚姻歴がない」というのは理由があるのか。

(答弁補強)「婚姻歴のない未婚のひとり親」には寡婦控除が適用されていない。寡婦控除の始まりは、1951年。戦争で夫を失った妻を支えるのが当初の目的だった。民法では今でも「結婚して出産する」という伝統的な家族観を重視している。寡婦控除にかぎらず、戸籍をいれていない事実婚の場合に配偶者控除がうけられないのと同じで、現行の日本の税制は戸籍を重んじていることからくる措置。



質問に答える
野田那智子新事務局長

この総会をもって、事務局長菅井義夫さん、副事務局長林道寛さんが退任されました。菅井さんは2013年度から副事務局長を二期、二年、事務局長を2015年度から二期四年、林さんは2016年度から三年務められ、お二人は役員として、「行動する退職者連合」に大きな功績を残されました。感謝いたします。



総会前日、地方退連の代表者、産別組織代表者による組織代表者会議が開催されました。事務局から①退連300万組織アクションプランの見直し、②地域組織作り、③退連未加入連合主要組織退職者会への働きかけ、④男女平等参画推進委員会の行動が、報告・提起され、意見交換がなされました。

ホームページは退職者連合で検索を

退職者連合 検索